

小山市小中一貫校(乙女中学区)推進委員会会報 第3号



● 第3回 推進委員会の結果概要

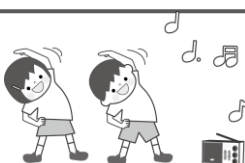
3回目の会議が、12月15日(火)にしらさぎ館で開催されました。アンケート結果を基に、課題の検討や、2月～3月開催予定の地域説明会について話し合いをおこないました。



【第3回推進委員会で出た主な意見や質問等】

- ① 関東・東北豪雨の水害によってアンケート調査や会議が延期になったが、今後の委員会のスケジュールに変更はあったのか？
→ アンケートが延期になったことにより、地域や保護者への説明会も遅れることとなった。年度内で方向性を出していくことは難しいため、平成28年度も引き続き検討を進めていきたい。
- ② 同様に小中一貫校の話し合いを進めている絹中学区では、どのような小中一貫校のデメリットがあがってきているのか。
→ 絹中学区においては、以前から、小中学校が連携した活動をおこなっていたこともあり、いまのところデメリットはあがっていない。[事務局回答]
乙女中学区においては、先日、校長等で小中一貫校のメリットやデメリットについて話し合ったところであるが、デメリットとしては通学路の安全性、スクールバスの利便性、非常時におけるスクールバスの運行方法、地域と連携した活動の実施、学校の歴史や思い出の継承、特色ある活動の継続などがあがった。乙女中学区においても課題が見えてきた際には、対応を考えていきたい。[委員回答]
- ③ 小中一貫校は、学校適正配置が前提になっているように感じてしまう。
→ 小中一貫教育は、平成29年度から全市で一斉に開始するため、統合が前提になっているものではない。ただし、乙女中学区では、児童数が減少していることや、小中学校の距離が近いほど小中一貫校の効果が高くなることなどを踏まえ、学校適正配置の提言書に基づき、乙女中に近接した乙女小を校地に、乙女小、下生井小、網戸小を統合することを検討している。
- ④ 通学路などの具体的な話をしなければ、合意形成は図れないのではないのか？
→ 説明会でおこなう予定である。
- ⑤ 説明会は乙女中学区で小中一貫校を進めることを前提におこなうのか？
→ 「小中一貫教育及び小中一貫校に関する提言書」と「学校適正配置等に関する提言書」の内容に基づいた説明やアンケート調査結果などを説明し、地域の皆様に意見を伺おうと考えている。
- ⑥ 説明会はいずれの日も同じ内容なのか？
→ 全て同じ内容である。
- ⑦ 地元の理解をどうやって得るのか？
→ アンケート調査や、説明会における意見交換等も活用して地元の理解を得ていきたい。必要であれば、再度、アンケート調査をおこなうことも検討している。
- ⑧ 説明会では、地域の方々が理解できるよう、丁寧に説明することが大切である。
→ アンケート調査結果とともに、小中一貫校や学校適正配置についてしっかりと説明したい。

● 今後の推進委員会の開催予定



保護者の皆様や自治会の皆様への地域説明会*(2月～3月開催予定)のご意見等を踏まえ、3月に開催し、乙女中学区における小中一貫校について検討してまいります。

※地域説明会の詳細は4ページをご覧ください

※ この会報は、乙女中学区にお住まいの方を対象に配布しております。

※配布は自治会単位のため、実際の通学区域(乙女中学区)外の方へ届く場合がありますがご了解下さい。

●アンケート調査結果(概要)

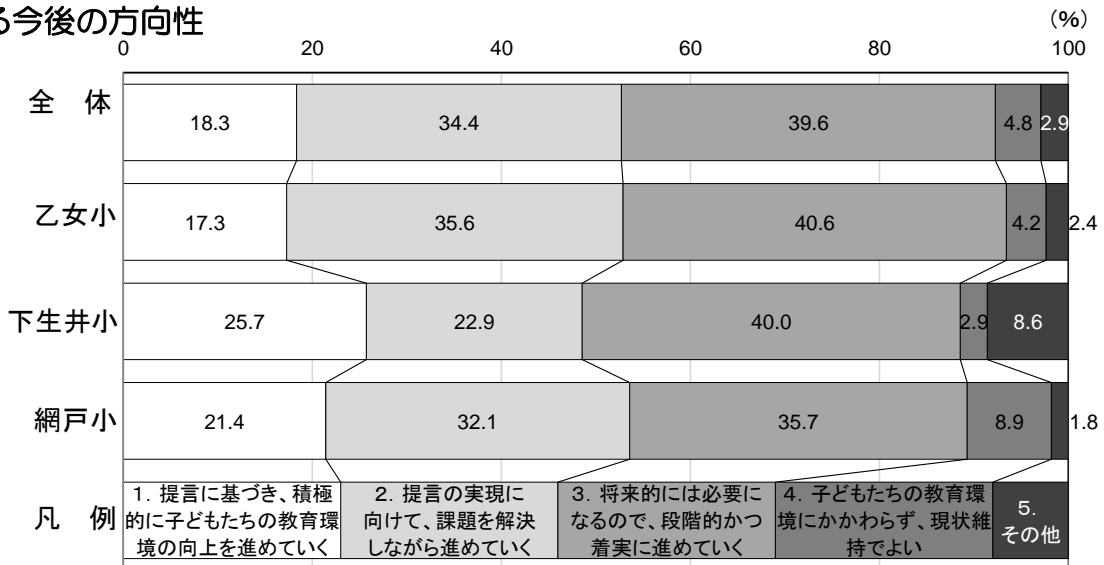
※アンケート結果詳細については小山市ホームページをご覧ください

◎回収率・回答世帯数

配布対象	回収率・回答世帯数			
	小学生以下(12歳以下)の子供がいる世帯	その他の無作為抽出による世帯	全体 (対象数: 1,097 世帯)	
回収率	56.6%	33.3%	回答世帯数 493 世帯	44.9%
学校毎				
乙女小	54.1%	29.2%	390 世帯	41.6%
下生井小	58.8%	52.9%	38 世帯	55.9%
網戸小	71.7%	52.2%	57 世帯	62.0%

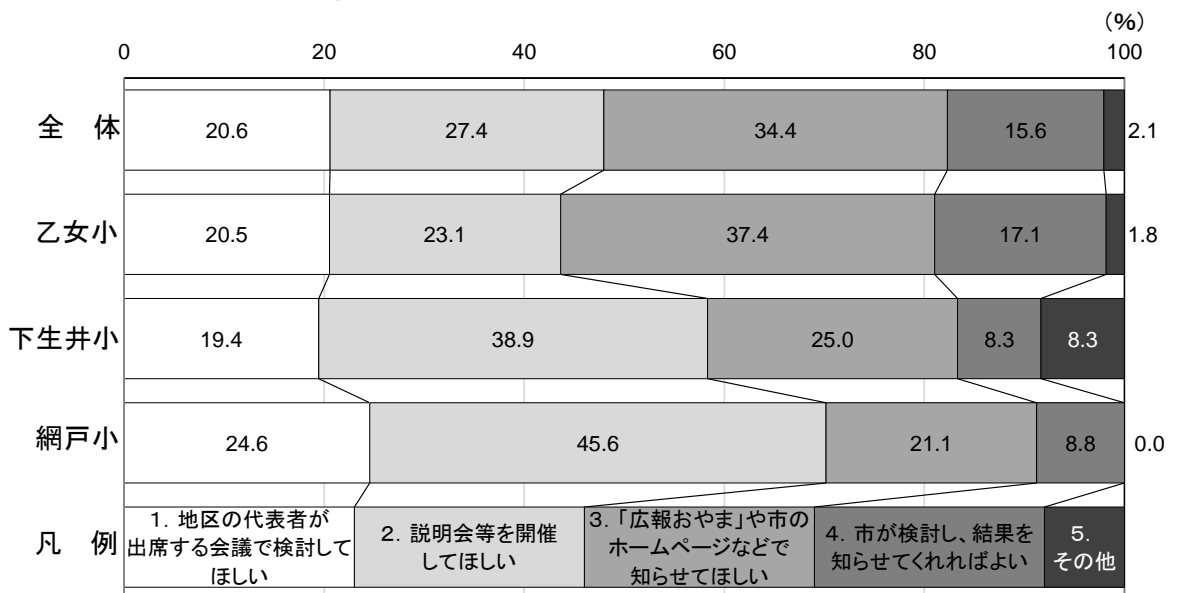
◎提言に対する今後の方向性

下生井小や網戸小では、全体に比べ、「提言に基づき積極的に子どもたちの教育環境の向上を進めていく」と答えた割合が高くなっています。



◎学校適正配置(学区・学校の再編)等の進め方

「説明会等を開催してほしい」との回答は下生井小や網戸小で高い割合となっています。乙女小では「広報やホームページを使って知らせてほしい」が全体に比べ高くなっています。



◎その他 ～ アンケート結果からみえてきたこと ～

- ◆ 「小中一貫校推進の課題」では「保護者、PTA等を含めた取り組み体制」を課題と考える人が多い
- ◆ 「学校適正配置等への課題」は、通学に関するものが多い
- ◆ 「学校適正配置等への期待」は「子どもの教育環境」に関するものが多い



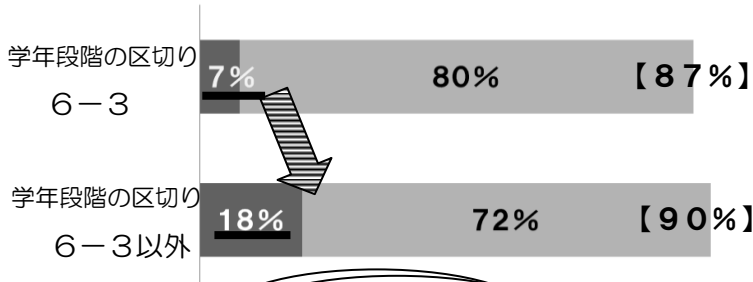
● **小中一貫教育の成果と課題【第2回(全3回に分けて紹介します)】** 文部科学省の調査結果より

小中一貫教育を実施している全国の国公立小・中学校に対し、平成26年5月に文部科学省がおこなった小中一貫教育の実態調査では、以下のような結果がみられました。皆様には、全3回に渡り、小中一貫教育の成果と課題についてお知らせいたします。今回は第2回目です。

小中一貫教育における成果

「学年段階の区切り」と「小中一貫教育の成果」

■ 大きな成果が認められる ■ 成果が認められる



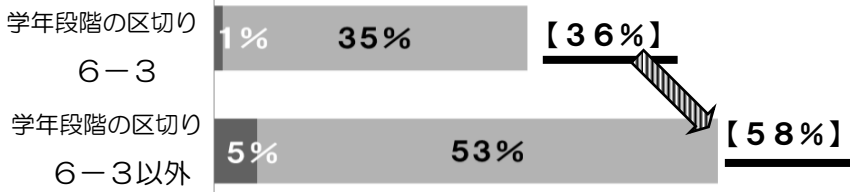
従来の6-3という学年段階の区切りよりも、6-3以外の学年段階の区切りを設けているほうが、成果が上がるのがわかります。具体的な成果については以下グラフをご覧ください。



〔具体的な成果〕

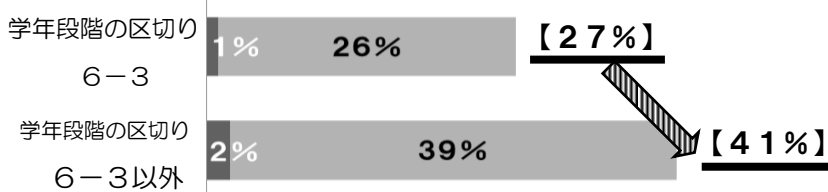
学力・体力の向上

① **全国学力・学習状況調査の結果が向上した！**



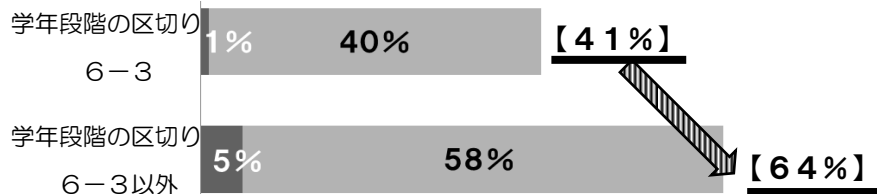
全国学力・学習調査や全国体力運動能力・運動習慣調査の結果が向上したかという設問には、学年段階の区切りが6-3である場合よりもそれ以外の区切りを設定している学校の方が「向上した」と回答する割合が高くなっています。

② **全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した！**

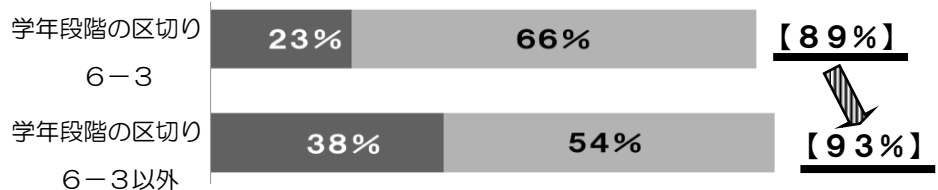


学習意欲の向上

③ **勉強が好きと答える児童生徒が増えた！**



④ **中学校への進学に不安を感じる児童が減少した！**



児童生徒の学力や体力の意欲向上という面においては、学年段階の区切りが6-3以外である方が、「勉強が好き」と答える児童生徒の割合の向上や中学校進学への不安減少という点から効果があることがわかります。

乙女中学区小中一貫校の推進等に関する説明会の開催について

小山市は、子どもたちにとって効果的かつ魅力的な教育環境づくりのため、小中一貫教育及び小中一貫校の推進や学校適正配置に向けた検討を進めており、乙女中学区においては、現在、地元代表者等で構成する「小山市小中一貫校（乙女中学区）推進委員会」を設置し、今後の学校の在り方について協議を重ねています。

また、過日、多くの地域のみなさまの考え方やご意見を伺うため小中一貫校等の推進に関するアンケート調査*を実施いたしました。

アンケート調査結果から、説明会を開催して欲しいというご意見が多くありましたので、下記の日程にて説明会を開催いたしますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

記

1.開催日時

開催日	会場	開催時刻	終了予定時刻
2月 6日（土）	生井公民館	午前10時	午前11時30分頃
2月 7日（日）	しらさぎ館	午前10時	午前11時30分頃
2月18日（木）	しらさぎ館	午後6時30分	午後8時頃
2月25日（木）	生井公民館	午後6時30分	午後8時頃
2月29日（月）	生井公民館	午後6時30分	午後8時頃
3月 5日（土）	生井公民館	午前10時	午前11時30分頃

※いずれの日も同じ内容での説明となります。

2.参加方法 申し込みは不要です。会場で受付をして入場下さい。

アンケート調査*（H27.10/9 ～ 10/23 実施）

- ・対象者（計1,097世帯）
- 12歳以下の子がいる保護者 548世帯
- それ以外の世帯（無作為抽出）549世帯

教育総務課
小中一貫推進係
TEL 22-9658